



二本松市立小浜小学校 学校だより

希望のひろば

令和元年11月22日(金)

第29号

正しくおそれるために 放射線学習



11月19日に、3年生と4年生で、放射線に関する学習を行いました。講師には、二本松市放射線アドバイザーの木村真三先生をお迎えしました。

当日は、それぞれの学年の学習の状況にあったお話をいただき、なぜ放射線について学習しなければならないのか、放射線にはどんな性質があるのかなどについて、分かりやすく丁寧にご指導をいただきました。

原子力発電所の事故から8年が過ぎ、放射線のことをついつい忘れがちです。放射線について正しく知って、どんなことが安全でどんなことが危険なのか、正しく注意を払えるようにしたいと考えています。

本校の校庭にも、モニタリングポストがあり、常に空気中の放射線量を測定しています。最近の値は、 $0.13 \mu\text{Sv/h}$ (1時間あたり 0.13 マイクロシーベルトという量の放射線量) 前後です。100mほど離れたところの小浜幼稚園のモニタリングポストでは、 $0.10 \mu\text{Sv/h}$ 前後くらいです。(どちらも危険な量ではありませんので、ご安心ください。) わずか100mの違いで、どうしてこのような違いが起きるのか、5年生くらいになったら、その理由のいくつかを考えて説明したり、調べる方法を考えたりできるようにさせたいと思います。

5年生、6年生の皆さん、考えられますか？ご家庭でも話題にしてみてください。

